

株式会社電力シェアリング



& GREEN
LISENCE

企業ビジョン
Greenと共に

(株)電力シェアリングの5つの脱炭素事業

意識の高い方には**理性**に、そうではない**マス層**にはナッジを活用して**感性と値段の安さ**に訴える。

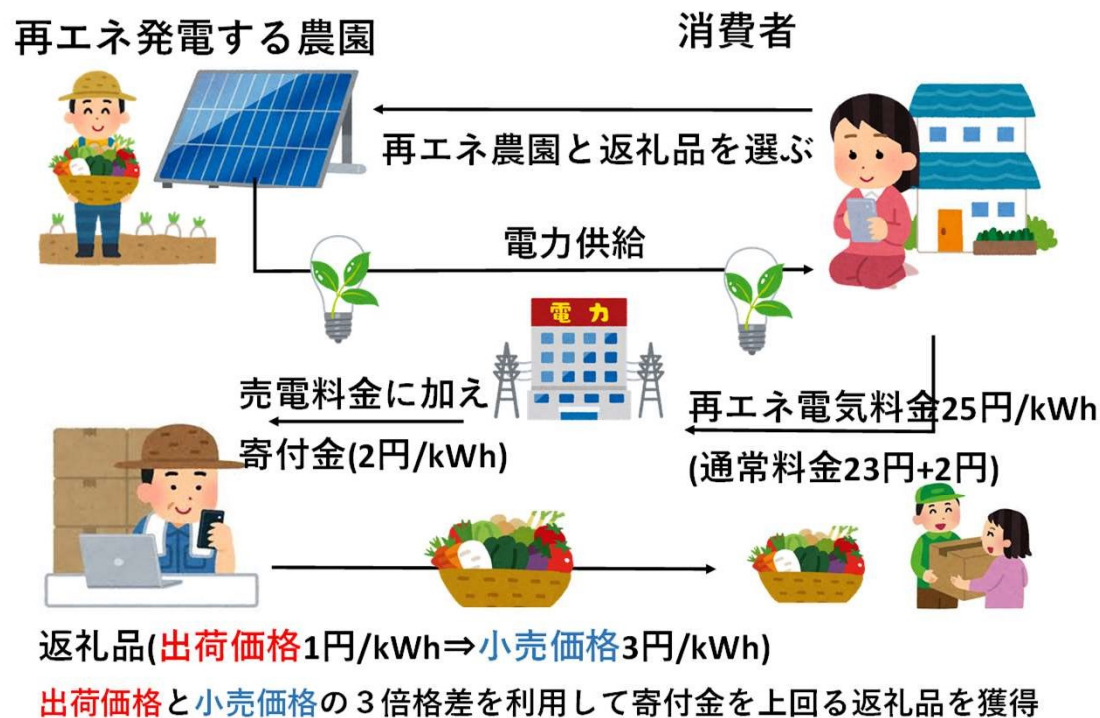
地産型再エネを農林水産品の**販売と組み合わせ**て、サービス全体で**一般の電気より実質的に安く**することができた。「**野菜が売れば再エネが売れる**」「**再エネが売れば野菜が売れる**」仕組みを構築

金銭インセンティブに加え「**みんなで、楽しく、わくわくする**仕掛け」⇒「**気づいたら脱炭素していた。**」



再エネ版ふるさと納税 「ふるさとからの贈り物」

- スマホアプリで応援したい**再エネ発電農家に寄付**すると、再エネ電気を使った分だけリアルタイムにポイントがたまり、寄付先の地域から小売価格で**寄付金を上回るお礼の農林水産物がもらえる**新しい地域応援の仕組み。サービス全体で**一般の電気より実質的に安く**することができた。まず三重県松阪市で実施
- **わくわくする仕組み**：電力消費に応じて返礼ポイントが貯まるため、**電力消費量をこまめにチェック**するようになる。需給ひっ迫時等にスマホアプリからの節電要請に応じて電気を使わないことでもポイントを付与することで、**ゲーミフィケーションの手法で省エネ効果**も期待される。



ふるさとからの贈り物



ふるさとからの贈り物とは？



ふるさとからの贈り物とは、応援したい再エネ発電所に寄付すると、再エネ電気を使った分だけリアルタイムにポイントがたまり、寄付先の地域からもらえる新しい地域応援の仕組みです。ブロックチェーンをイイの寄付の仕組みです。

名産品一覧



生黒宝きくらげ
神奈川県横浜市金沢区



原木椎茸
東京都府中市



永島農園



河内椎茸園

獲得ポイント早見表

世帯数	ひと月の電気料金(電気使用量)	獲得ポイント/毎月
1人	5,184円(176kwh)	176P
2人	8,795円(307kwh)	307P
3人	9,995円(345kwh)	345P
4人	10,714円(368kwh)	368P
5人	10,744円(369kwh)	369P
6人以上	14,866円(500kwh)	500P

申込ステップ



STEP.1
獲得ポイント早見表を確認する



STEP.2
お礼の品を選ぶ



STEP.3
ポイントを確認する・お礼の品と交換する

■ **生産者と消費者が「再エネとゼロカーボン野菜」でつながりあう「再エネと食のP2P事業」:**
重油利用に替えて、**再エネ発電で栽培**した一次産品にグリーンシールを貼り、ゼロエミッションで作られたことを証明し、「**環境野菜**」を訴求し販売。（関東一円大手スーパー等で月3万パックの椎茸を販売）

■ **横浜永島農園直売所**とオンラインで、600円の椎茸をグリーンシール付630円(+5%)を並べて販売したところ、**購買者の3割がグリーンシール付椎茸を選択**（Jクレジット換算で30円/kWh:市価の30倍）クラウドファンディング返礼品でも3割が+5%を選択。

■ 消費者が、シールにあるQRコードをかざすと、**アプリで生産者と直接つながる**。消費者が「**美味しかった！❤️**」ボタンを押すと、生産者は「**いいね！👍**」で返し、**次回買物に使えるポイント💰**を付与。

■ ポイントや交流といったゲーミフィケーションで消費者がお得意様化し、安定生産・在庫管理や食品ロス削減を担保。再エネや生産物の属性情報（いつ・どこで・誰が・どのようにして作ったか）をブロックチェーンで信頼性ある形で記録して、食の安心・安全を訴求。



おひさま干しシイタケ25g入り袋
¥600



【CO₂オフセット済み】おひさま干しシイタケ25g入り袋
¥630



こんにちは! 永島農園です!



■ **再エネ価値のある規格外野菜・売れ残り野菜を
当日深夜に調理し、安価で新鮮な弁当を販売**

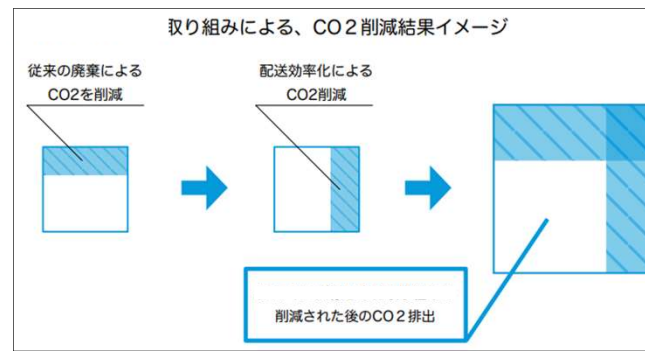
■ JA直売所で午後5時閉店時に売れ残った葉物野菜は原則として**当日廃棄**。

■ 野菜生産においては、**規格外品**が少なからず発生。（トマトの場合15%）

■ 規格外・売れ残り品を東京都豊島区内の**弁当工場へ運び深夜に調理**、翌日に都心部建設作業現場の簡易食堂で**ワンコイン弁当**として販売。

■ 再エネ・地産地消・食ロス回避価値のある弁当を**通常料金で提供**する。消費者はQRコードで生産者と繋がることができる。

自然エネルギーを使って
野菜を栽培する地域の農家



RE100x（環境負荷低減＋地域経済・社会貢献度）＝SDGs100を実現する基準作りと誘導

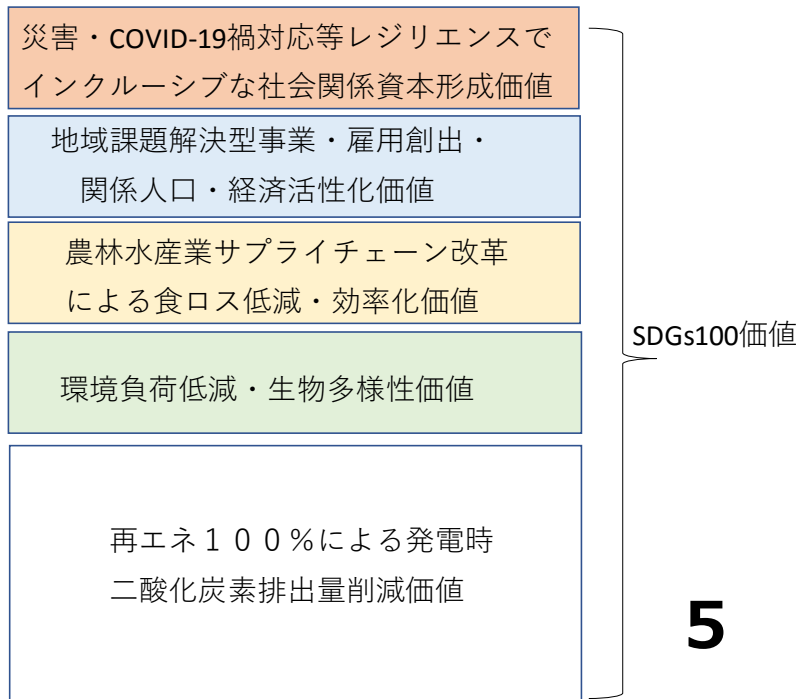
○地産地消型再エネの大量導入には、「**農業振興X再エネ**」「**食品残渣X再エネ**」などといった掛け合わせで、**消費者のUXを高め採算性を確保**する民間企業等の創意工夫が有効であると思料。

○こうした取り組みでは、**再エネの脱炭素価値に加え**、フードロスやマーレージの縮減・地産地消と産地直送を組み合わせた流通網の再構築等による農林水産業の発展や、地域の雇用創出、経済循環環境保全、災害対応、地域すべての住民の包摂、といった、地域循環共生圏の実現に向けた各種効果も見込まれる。従って、政府は、地産再エネ発電やゼロカーボンツーリズム等に関して、**客観性・公明性を担保する、RE100に、環境や地域経済・社会への貢献度を加味した「日本発のSDGs 100基準」**を策定し、その好事例をClubhouseなどのSNSを駆使し広く内外に発信、**持続可能な地域と再エネの発展のドミノ倒し**を起こすべきではないか。

○こうした貢献度の信ぴょう性を担保し、消費者を保護する観点から**公平・中立的な組織**（例えばRE100におけるCDPやThe Climate Group）が、そのプロジェクトや支援企業・自治体のするなどの仕組みの構築が必要ではないか。**評価・格付けを行い改ざん困難性の高いブロックチェーン（分散型台帳）に記録・開示・管理。**

○**SDGs 基準の高い再エネや一次産品を購入する企業・消費者を認定し、表彰**する仕組みを導入してはどうか。企業においてこれを**統合報告書の記載項目**としてはどうか。

SDGs100基準のイメージ



參考資料

(追加) これらの取組への課題と政策提案 :



ヒト : 「再エネ発電所」「電動車MAAS」「名産品のプロデュース」「大規模マルシェ」「エコツーリズム」などの地域事業を実行する際に、都市部の金融・開発・広告等の専門人材が柔軟に支援する仕組み

- ① ワークेशन・二拠点居住をする**専門人材が地域事業にパートタイムで参画**する仕組み
- ② ファミリー・ワークेशनに来る**就学児童が地域の学校へ「短期留学」**する仕組み

モノ : 「ゼロエミッション」を触媒とした生産物の新しい流通網の構築 : 大量に生産し、流通し、消費する従来のハブ & スポーク型から**地産地消と産地直送を組み合わせた流通網**の再構築
(JAや卸売市場との連携強化)

日本版AMAP(CSA) の構築 : 消費者が農家が置かれている現状を理解し、地域の小規模農家を守る意識を持ち築くという生産者と消費者を繋げるフランス式直売システム (AMAP) の導入支援。

再エネ版ふるさと納税 : 電力を安く仕入れ高く売るという電力小売会社のブローカーモデルから、地域の再エネと名産品を併せて販売する**地域プロデューサーモデル**へ移行を国が支援

カネ : マルシェ開催や共同営農等の地域事業に市民が相互に**クラウドファンディングする仕組みの支援**行政は事業の公共性 (雇用創出や公共事業の代替性) に鑑み市民の出資額に応じて資金支援。

環境負荷の、小規模・地域密着型再エネ発電所の建設にあたり**市民・企業・地域金融で「ふるさと脱炭素基金」**を設立・運営 : 国が資金支援

③クラウドファンディングナッジによる地域発の自立的な取組の支援

- 営農型太陽光発電でニンニクを栽培する農園への災害用蓄電池導入を目指す馬上丈司さんらの取組を**みんなで一緒に支援するナッジ**：「みんなで応援チャレンジ」(令和元年度)：成功！
- 横浜で永島椎茸農園への太陽光発電導入で「ゼロエミッション椎茸」の生産を目指す永島さんの取組を**みんなで一緒に支援するナッジ**(令和2年度)：成功！

地域に優しい電気と野菜を届けたい！若手農家「つなぐファーム」の挑戦！

tsunagufarm まちづくり・地域活性化



現在の支援総額
1,059,000円

105%
目標金額は1,000,000円

サポート数
114人

募集終了まで残り
終了

お気に入り 21

おめでとうございます

このプロジェクトは、2020-01-15に募集を開始し、114人の支援により1,059,000円の資金を集め、2020-02-29に募集を終えました

千葉市で活動している農業法人つなぐファームです。畑で「農業」と「太陽光発電」を同時に行なう新しい農業モデルで、ニンニクと電気を作っています。昨年9月の台風で私達の地域は1週間以上停電しましたが、地域の方に電気を届ける手段がなく悔しい思いをしました。地域の力になる農場を作るための支援をお願いします！

シェア いいね！ ツイート LINEで送る URLコピー QRコード 読み込み

太陽の元気をしいたけに届けたい！太陽光発電設備を永島農園に導入します！

永島農園 フード・飲食店



こんにちは！永島農園です！

現在の支援総額
500,738円

166%
目標金額は300,000円

支援者数
77人

募集終了まで残り
終了

お気に入り 22

おめでとうございます

横浜市金沢区でしいたけ農家をしている永島太一郎です。私の家系は横浜の地で500年以上農業を続けてきましたが、今回より自然に優しい農家になるために、そして持続可能な社会づくりに寄与するために太陽光パネルを設置します。応援をよろしくお願いいたします！

このプロジェクトは、2020-09-23に募集を開始し、77人の支援により500,738円の資金を集め、2020-10-30に募集を終えました

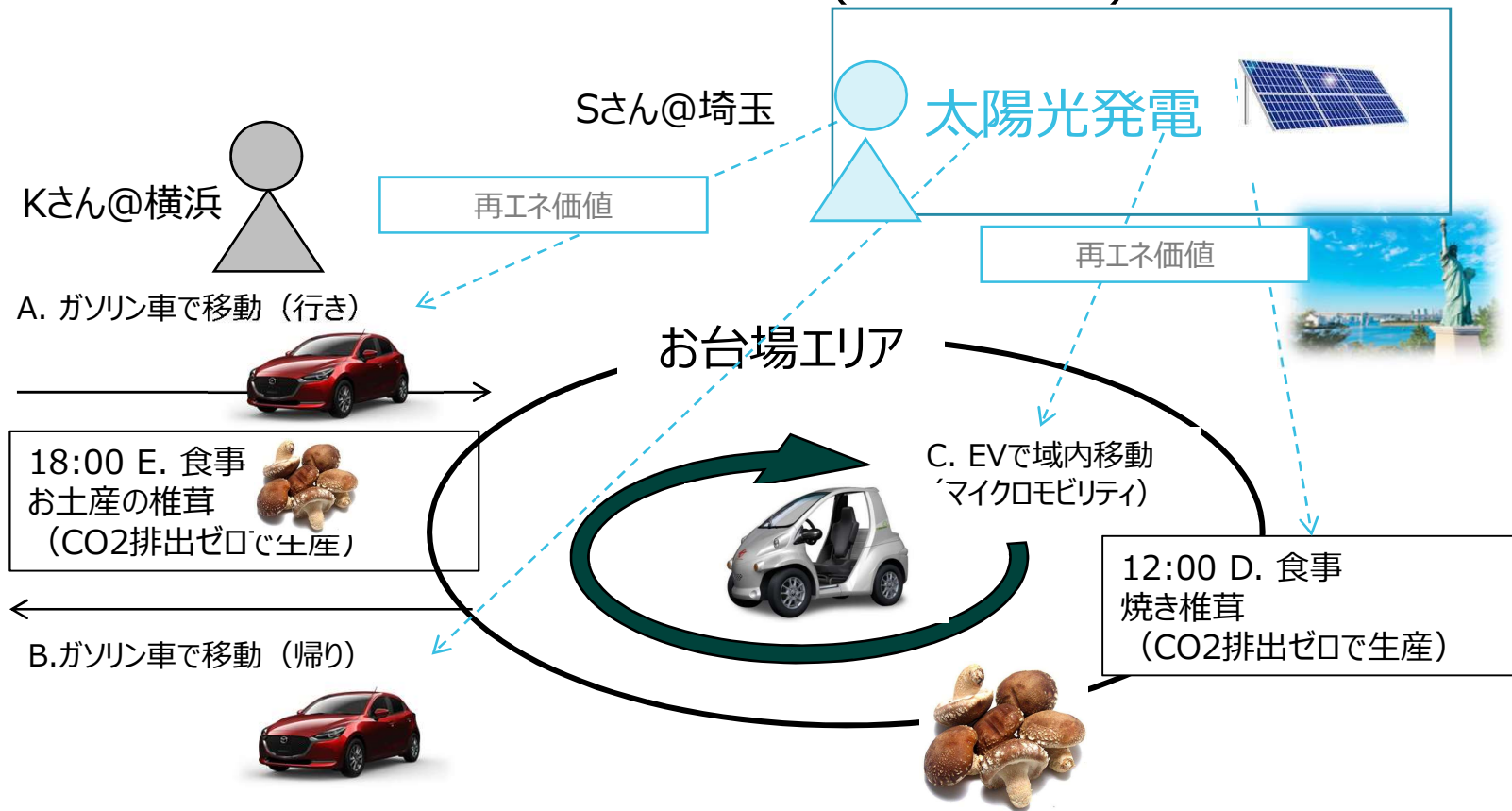
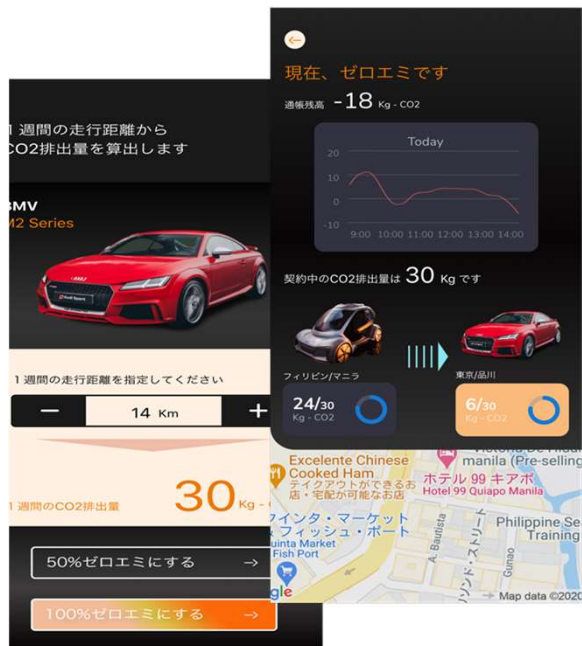
シェア ツイート LINEで送る URLコピー QRコード 読み込み

- 志ある地域の脱炭素の取組を国民が支援する仕組み。自ら考えた想いのある取組であれば、地域が主体的・持続的に取り組む。支援者が特産品や体験を返礼品として受け取り、お得意様化（関係人口の増加や地方創生に貢献）。
- 例：農家の再エネ導入によるゼロエミッション野菜をブランド化しつつレジリエンスも確保。支援者は野菜の受取や農業体験を通じて脱炭素を実感。

④ブロックチェーンで脱炭素ツーリズム実証実験（2021年2月）

- 神奈川県横浜市からガソリン車で東京都お台場へドライブし、現地でマイクロEVシェアに乗り換え、レストランで食事するすべてのCO2排出量を、ブロックチェーンを活用した再エネ価値のP2P取引システムで埼玉県の太陽光発電所からリアルタイムで充当しオフセット。スマートフォンアプリを使ってゲーム感覚で行う完全ゼロエミッションツーリズム実験を成功させた。（2021年2月）

スマートフォンアプリケーション



- スマホのアプリで太陽光発電による環境価値をリアルタイムで取引。MAAS利用も含め、ゲーム感覚でUXを高め、EVや燃料電池車などの利用を促進。

ゼロカーボン和牛販売を通じた消費者の選好に関する実証実験

2021年1月22日 日本経済新聞電子版「輸送時のCO2ゼロの和牛」

- 和牛の輸送時のCO2排出量を環境価値で相殺し、生産だけでなく流通全体での環境負荷を低減
- 小売店やレストランに対しては輸送時のCO2排出量がゼロであることを示す証明書を提供
- 環境に配慮した和牛（ゼロカーボン和牛）ブランドを立ち上げ（同様の取組は他の農産物でも実施可能）
- 料理店側の注文発注のため、従来の大量生産・輸送・長期冷凍貯蔵（貯蔵期限が切れれば廃棄）方式に比べ、消費電力とロスを低減

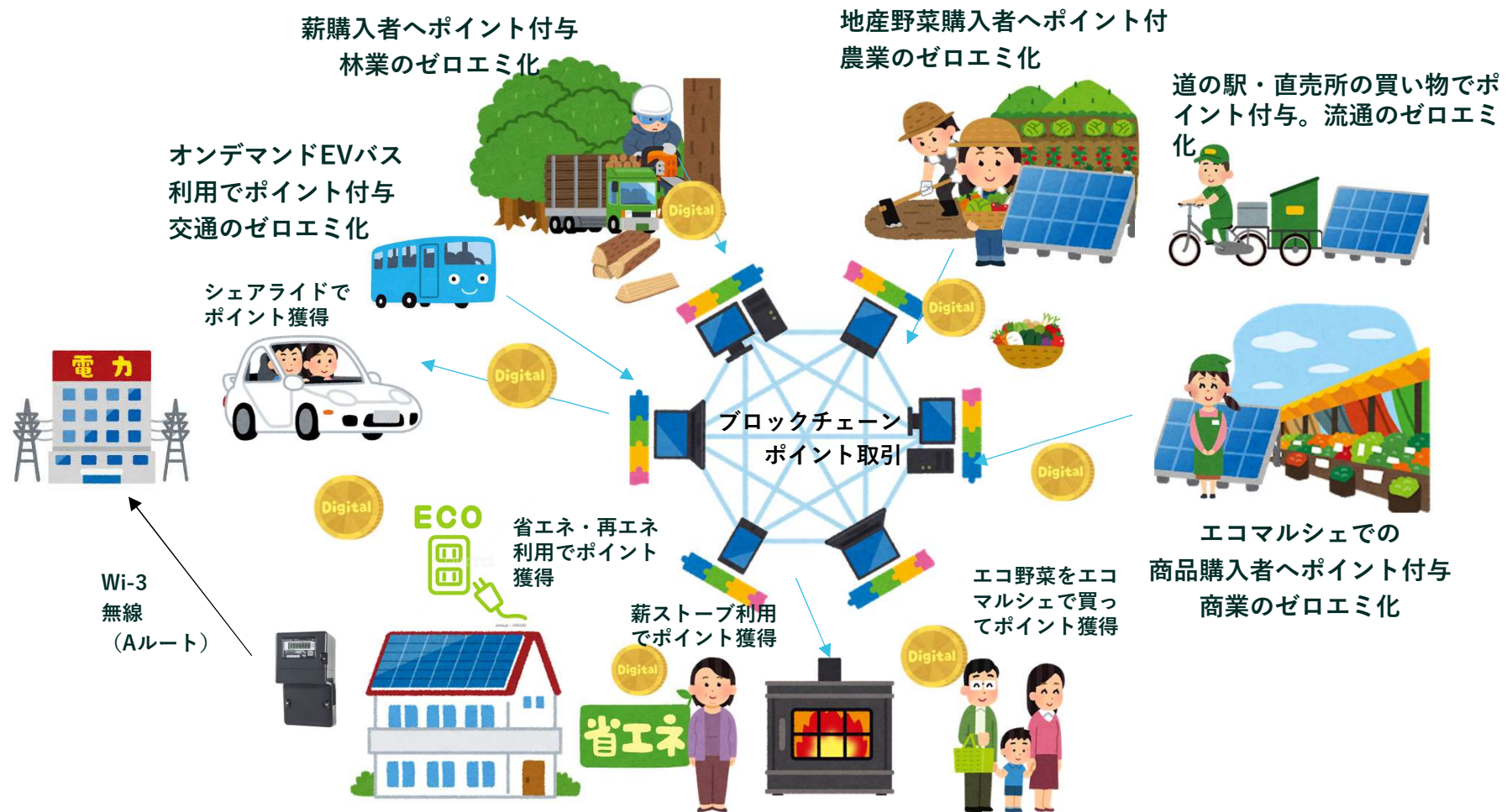


輸送時のCO2排出が実質ゼロであることを示すシールを貼付

- ブロックチェーンを活用して再生可能エネルギーや農産物の属性情報（いつ・どこで・だれが・どのようにして作ったか）を記録・トラッキングし、**在庫管理による食品ロス削減や消費者への食の安心・安全に関する情報提供・コミュニケーション**に役立てる
- 消費者に対する付加価値の提供と売上に対する影響の検証を通じて、**経済性も考慮しながら、生産者や販売者による環境配慮を適正に評価し、支援する社会を構築**する

⑤ デジタルを活用した環境配慮行動の見える化と地域ポイントの循環

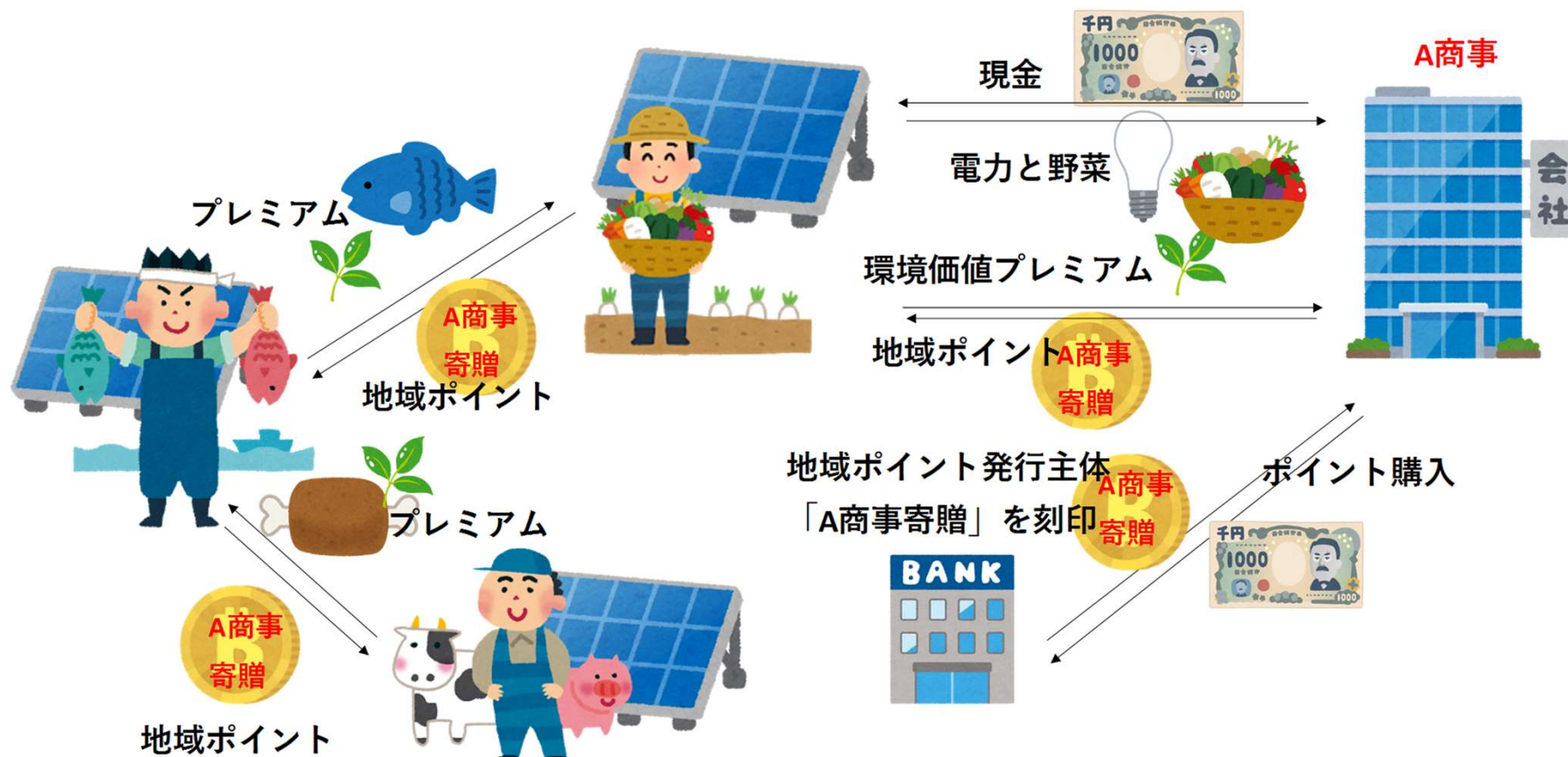
- AppleウォッチとiPhoneアプリで塩尻市民500人の環境配慮行動履歴を見える化しポイント付与。市民との協働により地域のゼロカーボン化を推進。（何人が行動をしているかをリアルタイムで見せて、みんなで一緒に頑張るチャレンジ）。



（追加）これらの取組への課題と政策提案：

都市部の企業や消費者は、地域再エネ・産品を買い取る際に、本体は現金で、**環境価値プレミアム分は地域ポイントで支払い**。当該ポイントは地域内で循環し、**税金のみに頼らない地域ポイントの循環・乗数効果**を担保。

当該ブロックチェーン・ポイントには、**寄贈企業名が刻印**されて流通するため、企業の宣伝C効果が期待される。企業・個人別の**ポイント購入量ランキング**により、貢献度を表彰。



大量生産消費を前提とするハブ＆スポーク型流通網の課題



- スーパーマーケット（長野）：人口減少で来店客減少。野菜バイヤーをリストラ。欠品防止のみがKPIとなり、東京青果市場から仲卸が長野産レタスを供給。長野東京往復で鮮度も低く高値。

対策：地元有志とシャッター商店街で青空マルシェを開催し、東京経由のレタス2個・地産朝採れレタス1個を直接併売実験。多くが地産を選択（実施済）

- 漁師（長崎）：磯焼けをもたらす害魚の「いすずみ」。

対策：流通にのらず廃棄＞練り物に加工し高級イタリアレストランで提供



- トマト農家（山梨）：15%が規格外廃棄。対策：有効利用のためペーストや粉で、ClubhouseというSNSで発信・直販（実施済）



- JA直売所（東京）：午後5時閉店時売れ残りの葉物野菜は原則廃棄対策：豊島区の弁当工場へ運び都心部建設作業現場の簡易食堂へ提供（実施予定）

- 都市部中央卸売市場：対策：売れ残りそうな鮮魚を大卸と共同で近隣住民に直販（ダイナミックプライシングの活用）を検討

- 花卉農家：茎80cm未満の花は廃棄：衣料小売大手が60cm規格で店舗装飾用を買付け

当社ナッジ実証事業：「みんなでエコバッグを使おうチャレンジ」



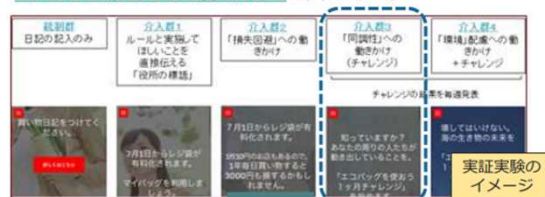
& GREEN

LISENCE

- 4週間・マイバッグ日記RCTを実施した（2020年5月14-6月22日：10群、1万人）。毎日の買い物で、できるだけレジ袋を使わずにマイバッグ利用を目指す、「みんなで」「共通の目標を掲げ」「一緒になってチャレンジ」の有効性を実証した。各人のマイバッグ利用日数をポイントで示し、さらに参加者全員でそのポイントを共有した。チャレンジの達成度を信頼性ある形で見せることで、効果が出た可能性がある。
- 本事業の成果を踏まえ、2020年7月から環境省の公式キャンペーンでも「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」が実施された。

ナッジを活用した戦略的な広報・普及啓発

- EBPM推進の観点から、エネルギー対策特別会計の事業の成果により得られた省CO2に係るエビデンスに基づいて政策を立案し、省CO2対策の実効性を高める取組を進めている
- 令和2年7月からのレジ袋有料化に合わせてレジ袋の受け取りの辞退やマイバッグの利用を促進するため、どのような働きかけをすることが効果的であるのかを明らかにしようとした
- 得られるエビデンスの頑健性の高いランダム化比較試験を用いた実証実験とその効果検証を実施し、結果に整合する広報・普及啓発を展開して実効性の向上を図っている



ナッジによりレジ袋辞退率・マイバッグ利用率が増加
 ・「みんなでチャレンジ」して、その「結果を定期的にフィードバック」することが最も効果的であった
 ・環境配慮行動の実践度合いも向上。レジ袋・マイバッグについて考えることが省エネ等のその他の環境配慮行動も促進し、家庭での経済効果を生むことが実証された



各群別レジ袋利用率の推移（有料化前後の結果）

